

平成29年度自己評価シート(中間評価まとめ)

校番	068	学校名	広島県立祇園北高等学校	校長氏名	柘磨 昭孝	☎・定・通	☎・分
----	-----	-----	-------------	------	-------	-------	-----

1 評価結果の分析

(1) 生徒の主体的な学びを促す授業づくりの推進と業務改善の推進

- ① 授業評価アンケートによる「4段階」の割合は、目標値を14.4%超えた。ICEモデルを軸とする授業構築の実施率は、目標の80%に対して85.7%、定期考査の活用問題出題率は、目標の10%に対して8.09%であった。今年度は、活用問題の質的レベルアップを図る取組を進めている。(教務部)
- ② 第1回業務改善モデル校アンケートでは、「生徒と向き合う時間」が確保できている割合が全日制の平均値よりも11%低い。「日々の業務の中で充実感を得られている」と回答した割合は、全日制全体の平均値よりも3.8%高い。質問中心の会議をより積極的に行い、教職員間のコミュニケーションの機会を増加させる必要がある。(校務運営会議)

(2) 高い志を持った生徒の進路実現と理数コースの充実

- ① 3年生315名中314名が、5教科型で大学入試センター試験に出願した。1・2年生の国数英の平均偏差値54以上は、1年49人、2年70人であった。模試分析会については、校務運営会議・学年会・進路指導部会・教科主任会議へ結果を報告し、適切な対策を講じている。各学年の進路情報のタイムリーな提供に努め、進路意識をもたせる指導を継続している。(進路指導部)
- ② 7月のオープンスクールには994人の生徒・保護者が参加し、「授業体験会」「学校説明会」「部活見学」の全プログラムで95%以上の肯定的評価を得た。本校HPに各行事や部活動に加え、各種講演会等の教育活動の内容をタイムリーに更新している。(総務部)
- ③ 「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」指定校として、今年度は仮説設定を理数コンピテンシーに関して、科学的現象等に係る行動志向から育成に有効な手立てのモデル作成の取組を進めている。(理数コース)

(3) 北高生としての自覚とグローバル社会で逞しく生き抜く力の育成、個に応じた指導や支援の充実

- ① 家庭学習の習慣化に向け、FINEシステムライセンスの増加、e-ポートフォリオの導入など、担任による面談・三者懇談会等による指導の充実を努めている。進路講演会を既に1・3年で実施し、2年は進路実現に向けた意識の切り替えを目的として11月の開催を計画している。(進路指導部)
- ② 1日平均遅刻者数は4.3人、自転車事故は6件減少した。自転車交通安全啓発活動や啓発動画の作成などで地域社会の一員としての自覚が高まっている。部活動の充実では、現時点で3部活が中国大会に、2部活が全国大会に出場した。加入率は5月時点で、1年生88%、2年生83%、3年生90%、全体87%となっている。(生徒指導部)
- ③ カナダ姉妹校交流については、5月にカナダから生徒を受け入れ、10月には本校からカナダを訪問する。いずれも、事前指導を充実させた取組を進めている。エンパワーメント・プログラムを12/13～17の期間、31名の参加者で実施予定である。(総務部)
- ④ 教育相談日を拡充し、生徒・保護者に対するサポートは充実してきた。アンケートでは、「本校は、生徒の悩みや相談に耳を傾けている」、「本校に体罰・セクハラ相談窓口があることを知っている。」、「本校は、きちんと清掃をしており、環境美化に努めている。」の各質問に87%以上の肯定的回答をいただいた。(保健部)

2 今後の改善方策

(1) 生徒の主体的な学びを促す授業づくりの推進と業務改善の推進

- ① ICEモデルを軸とした授業づくりや活用問題の定期考査出題は概ね定着し、今後は活用問題の質的な深化が見られるか、また単元の授業展開と活用問題の出題とがリンクしているか考察していく。10月の公開研究授業で外部からの指導・助言者の指導を受けながら、全教職員が「生徒の主体的学びの構築・単元の授業展開と活用問題とのリンク」をテーマに研鑽していく。(教務部)
- ② 業務改善に向けて会議のあり方の改善や既存の取組の縮小や廃止など、スクラップ・アンド・ビルドを行い、行事等において分掌に関わらず多くの教職員で協働する雰囲気醸成していきたい。(校務運営会議)

(2) 高い志を持った生徒の進路実現と理数コースの充実

- ① 進路実現に向け、粘り強い指導を各学年・各教科で継続するとともに、最後まで諦めずに取り組むことを訴え続ける。(進路指導部)
- ② オープンスクール・授業体験会では、受付人数を増やし、生徒による受付・案内を充実させ、流れをよりスムーズにする。また、1,000人を超える参加者にとって体育館の暑さは耐えがたく、送風機の設置などの暑さ対策を講じる必要がある。(総務部)
- ③ 理数コースの教育活動の深化に向けて、生徒アンケート等を実施するとともに、効果的な指導の在り方を工夫する。(理数コース)

(3) 北高生としての自覚とグローバル社会で逞しく生き抜く力の育成、個に応じた指導や支援の充実

- ① 宅習時間の増加に向け、進路検討会議及び模試分析を通して、生徒の状況をより詳細に分析し、学年や教科等で効果的な指導の工夫に努める。また、学習と部活動の相乗効果で思考力の高い生徒を育成する指導感の更なる共有化を職員間で図る。(進路指導部)
- ② 部活顧問と担任及び学年会できめ細かく連携し、部活動を継続させる指導を行う。(生徒指導部)
- ③ 今後、空中庭園の整備に向けて、今年度中に良いものができるよう生徒指導部及び生徒会と連携をしながら取組を進める。(保健部)

3 学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策(学校関係者評価実施後に記入する。)

目標達成に向け、全職員が計画的に取り組んでいる。社会に通用し活躍できる人材育成に向けた指導を今後も継続していただきたい、とする期待の評価をいただき、本校が改善方策として掲げた取組を具体的に推進していきたい。